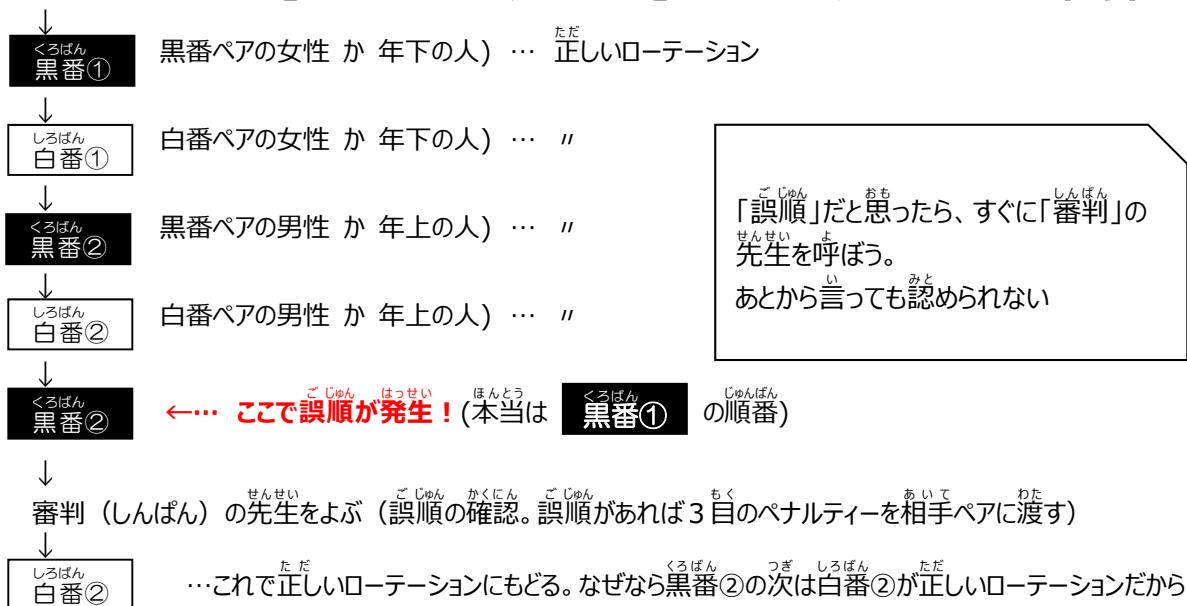


「誤順」と正しい「ローテーション」への戻しかたの例 (うら)



ハンデ表

1. ハンデの設定

☆置石の数はハンデポイントで決めるよ。詳しくは下の表を見よう。
☆プロ棋士は12ポイント、(大人も参加する) アマチュア・タイトル大会で優勝したことがある人は9ポイント、同じく、アマチュア大会の都道府県の代表になったことがある人は8ポイントとします。
☆その他は申し込みの時の棋力からハンデポイントを決めるよ。

ハンデポイントの算出例

☆まずそれぞれのポイントを確認しましょう。ポイントは以下のように計算します。

段級位	六段	五段	四段	三段	二段	初段	1級	2級	3級	4級	5級	6級
ポイント	6P	5P	4P	3P	2P	1P	0P	-1P	-2P	-3P	-4P	-5P

☆2人のポイントを足して2で割った点数を「ハンデポイント」と言います。

(例) Aさんが六段、Bさんが5級のとき

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{Aさん 六段} = 6P \\ \hline \text{Bさん 5級} = -4P \\ \hline \end{array}$$

2人のポイントをたします

$$\{ 6 + (-4) \} \div 2 = 1.0P$$

半分にわります

これが
ハンデポイント

2. 手合割

☆ペアのハンデポイントの差を計算して、下の手合割表を見て置石を決めるよ。

☆ジゴは白勝ちです。

☆コミ6は黒から6目のコミ出し、コミ-6は白から6目のコミ出し(逆コミ)だよ。
☆コミは対局が終わった後に渡そう。

手合割表

ポイント差	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0	3.5	4.0	4.5	5.0 以上
置石	0	0	0	2	2	3	3	4	4	5	5
コミ	6	0	-6	0	-6	0	-6	0	-6	0	-6

置石の決め方

☆まずそれぞれのペアのハンデポイントを確認しましょう。ポイントは以下のように計算します。

(例) 四段と1級のペアと初段と6級のペアの対局

$$\text{白} \quad \text{四段と1級のペア} \quad \{ 4 + 0 \} \div 2 = \text{ハンデポイント } 2P$$

$$\text{黒} \quad \text{初段と6級のペア} \quad \{ 1 + (-5) \} \div 2 = \text{ハンデポイント } -2P$$

ハンデポイントの差は

$$\{ 2 - (-2) \} = 4P$$

手合割表から求めると……置石4子 コミ-6 (白番から6目コミ出し)

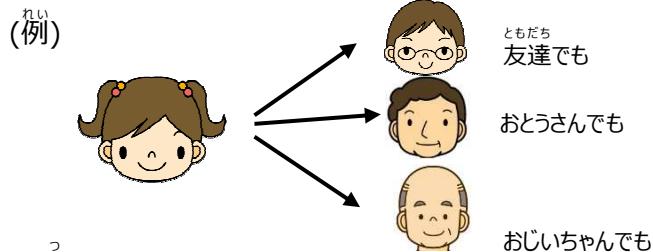
かんとう ごたいかい 関東ジュニアペア碁大会 ルール (おもて)

1. ペア対局について

☆ ペアの二人を「パートナー」と呼ぶよ。

ひとりちゅうがくせいのか
ねんれいなんさいだいじょうぶ
☆ペアのうち1人が中学生以下なら、パートナーの年齢は何歳でも大丈夫だよ。

☆「男女ペア」は女性がキャプテン、「男女ペア」「男女ペア」のときは若い方がキャプテンだよ。



⇒この場合は、女の子が「キャプテン」だよ。対局中は「キャプテンマーク」を着けよう。

2 座の座り方について

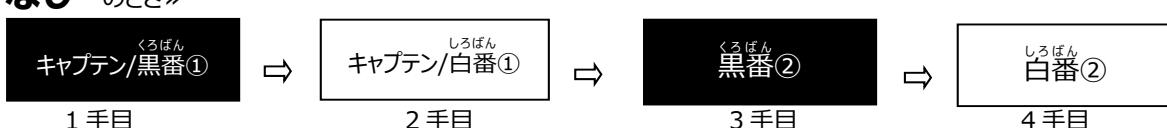
① 基盤をはさんで 対局をするペアと向かい合うように並んで座ろう。

② キヤブニ、同じ土が正面で向き今うとうに座ろう。(キヤブニ:は手前側に座るとう(二))

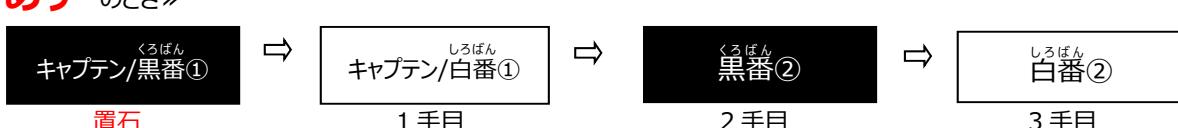
② キヤノテン同士が正面で向き合つように座う。(キヤノテンは手前側
う じゅんぱん つぎ なが い
③ 打て替り番は、次のとこに立上、その流れを「口 二 ミニ ハハニ」と

① 打つ順番は、次のようにするよ。この流れを「口一テー
たいきょく かならう」といって、手を打つ順序を覚えておこう。

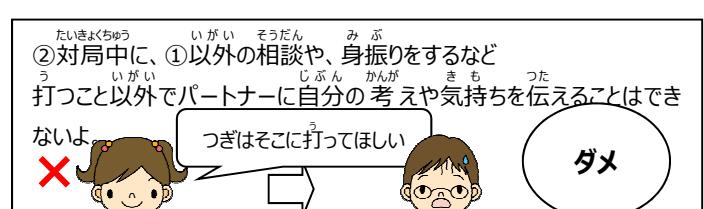
おきいし
『墨石 かし のとき』



おきいし
「置石」**あり** のヒキ



4 話してよい時、ダメなとき



5. 「投了(とうりょう)」をするには?

☆投了する時は打つ順番の人が相手ペアに伝えてね。（投了するかだけパートナーと相談できるよ）。

☆一度「投了！」たら、パートナーからでも取り消しできないから 注意してね

6. ルール違反（いはん）について

☆パートナー同士で「投了」と手番の確認以外の相談を
たいきよくちゅう どうじ せき はな

☆対局中、ペアは同時に席から離れることはできないよ。

☆自分の手番を間違えて、正しい順番ではなくなることを「誤順(じふん)」といいます。

☆「誤順(ごじゅん)」が起きた時は、必ず「審判」の先生を呼ぼう。

⇒審判の先生から「誤順(ごじゅん)」と言われたら…… 相手に3目のペナルティーを渡そう

審判の先生から「誤順(ごじゅん)」でないよと言われたら… そのまま対局を続けよ

☆相手ペアに3目のペナルティーを支払ったあとは、打ち直す

★相手にうなづく、ツルツルを支払うのには、「うなづく」という言葉が使われる。たとえば、
「タクシードライバーにうなづいて、料金を支払う」という表現だ。

スタートして、正しい山ーションに戻って対局を続けよう。